

第1回能登トキファンクラブセミナー ～飼育ケージから見たトキの生態～

第1回能登トキファンクラブセミナーを令和4年5月14日コスモアイル羽咋で、講師に竹田伸一先生を迎えて開催しました、参加人数は48名でした。



先生の質問として「風力発電所」はトキに影響をおよぼさないかの質問があり、佐渡では風力発電所がないので何とも言えないとの話がありました。



トキの生態や県内でのトキ飼育の歴史に理解を深める会員
 〓羽咋市のコスモアイル羽咋

トキの生態学ぶ 羽咋でファンクラブ

能登トキファンクラブ(穴水町)のセミナー(北國新聞社後援)は14日、羽咋市のコスモアイル羽咋で開かれた。いしかわ動物園でトキの繁殖・飼育に携わった竹田伸一さん(65)が、約40人にトキの生態や能登での放鳥に向けた課題を説明した。

竹田さんは近縁種飼育からトキ繁殖までの苦労話を紹介し、トキは足が短く深い池に入れないう「不器用な鳥」と表現。放鳥への課題としてトキを見守る体制の整備や財政負担を挙げた。

放鳥へ「環境づくりを」

羽咋でセミナー トキ元飼育員強調

能登地方でのトキ放鳥を支援するため発足した能登トキファンクラブのセミナーが十四日、羽咋市のコスモアイル羽咋であり、いしかわ動物園(能美市)に勤務時代、トキの飼育に携わった竹田伸一さんが「飼育ケースから見えたトキの生態」のテーマで講演し

た。

竹田さんはいしかわ動物園でトキの分散飼育を担当した経験から「トキはドジョウを捕るのが下手。足が短く水深二〇センチ以上の池には入らない。なんて不器用なのかと思った」と語った。能登でのトキの放鳥受け入れに向け「まだ分かつ



ていないことがたくさんある。トキに多少田んぼを踏

トキについて話す竹田伸一さん 〓羽咋市のコスモアイル羽咋で

まれても、どっつてことないと思える地域社会をつくるのが大事」と強調した。

能登一円の会員ら約四十人が聴講。元県議の宮下源一郎会長(穴水町)は「民間ボランティア団体として全面的に放鳥を応援していきたい」と話した。

(松村裕子)